



2008年夏号

地球

男女が共に生きる情報紙 VOL.77



平成20年度

男女共同参画週間

男女共同参画推進本部

内閣府男女共同参画周ホームページ <http://www.gender.go.jp/>

6/23(月)-29(日)

内閣府：
男女共同参画週間ポスター

本当の健康ってなんだろう？

ある大学教授のつぶやき……学生にいま一番興味があることは?

と聞いたら半分以上が『健康』と答えた。

まだ10代か20代の若者が、である……いまや健康ブームの真っ只中。

でも、健康っていったいなんだろう?

もくじ

- あなたは大丈夫? ……メタボリック症候群
- おすすめの本
- あるテレビ番組から
- 燃やせ! メタボリック ジョギングの楽しみ方
- インフォメーション

あるテレビ番組から

慌しい一日を過して帰宅した先日、人生なかばにして両眼の視力を失い、教師として再就職をした4~50代と思われる男性の姿を追ったテレビ番組に心を奪われました。

彼は授業の際、教室中の机の間を縫って歩いていました。

個々の生徒が授業の内容を理解出来ているのかどうか、彼らの表情を目で見て推し測れないかわりに生徒の傍で感じ取ろうとし、夜、帰宅してからは、録音した生徒一人ひとりの声を繰り返し聞いて、その生徒が誰であるか判るようにしていました。



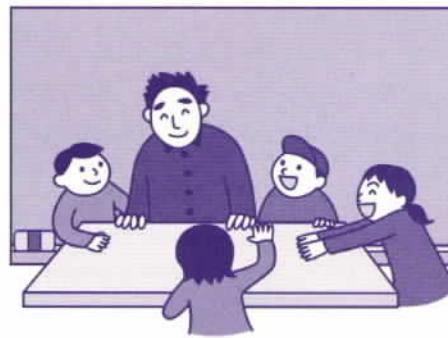
語れば沢山の悩みがあったことと想いますが、そこには笑顔があり、教壇に立つことをとおして、生徒を始め同僚の先生方といい人間関係をつくっている、そんな姿に私は心を打たれました。

先生は「健常者の先生は沢山の出来ることがあるけれど、目がみえなくても出来ることが沢山ある。目が見えないからこそできるところで、力を発揮したい。」と言っていました。

人間は情報の8割以上を視覚から得ているといわれますが、音声パソコンなどのIT機器を活用しながらも、ここで情報を読み取り、自らが人生に目標をもって楽しく、クリエイティブに生きられることを先生が世の中に示してくれていると感じました。「本当に大切なことは、目に見

えない」といわれることがあります、数字や表面に現れた結果だけで評価できない、大切なこころの成長を健やかに育んでいく教育者として、生徒や先生方に親しまれ信頼されていることでしょう。

授業が終わり、黒板の字を消している彼の周りに、生徒達が「先生！ 出来ないことがあったら何でもいって！」と集っていました。彼の笑顔にも生徒の笑顔にも温かい優しさと力強さが溢っていました。



番組をみたこの日、友人から約束を欠席する電話がかかってきました。「昨日まで喉が腫れていて、一日中、食が全く喉をとおらず、苦しくて誰かを呼ぶにも声がない、電話も話せないで、もどかしい思いをした」と訴えていた。電話の向こうの彼女は、いつものパワー溢れ行動力ある姿を想像させない、力ない声だった。普段できることができなくなった不自由さを想い、いつもの彼女に回復するのを願いながら、テレビ番組で見た先生の姿に励まされる思いがしました。

(三嶋 記)

男女共同参画課からのお知らせ

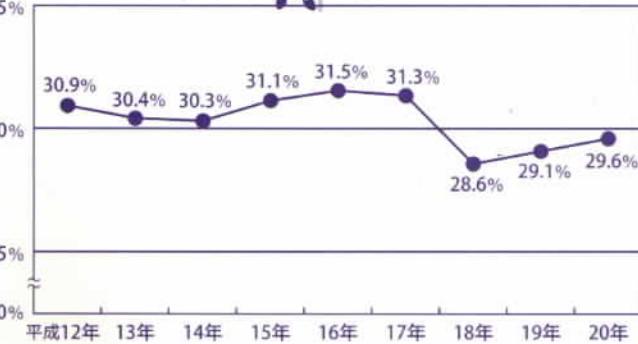
審議会等における女性の登用状況

藤沢市では、共に生きる社会の形成に向け、男性も女性も対等な立場で政策の方針決定過程に参画できるよう、審議会等委員への女性登用を進めています。

平成20年4月1日現在の登用率は、下表のとおりです。登用率40%達成に向け、全庁で取り組んでいます。

2008年4月1日現在(議員を除く)

審議会等の数	総委員数	女性委員数	比 率(%)
52	655	194	29.6



燃やせ! メタボリック ジョギングの楽しみ方

天気のよい週末の屋下がり、公園のベンチに座っていると様々なスタイルのランナーたちに出会う。本格的なランナーは黙々と走り去っていく。かと思えば、数人がグループを作り楽しそうに走り過ぎて行く。かくも世の中は、ジョギングブームなのかと感心しつつ、そろそろ何か運動でも始めなければと考えているのは、私だけだろうか。



「ジョギングは手軽で楽しそうとみんなに思われていますが、実は、結構体に負担がかかるスポーツなのです。急に始めて、足などを痛めないように気をつけましょう。」『湘南アスリート』代表金子憲之さんは、学生時代箱根駅伝を3回走った経験を持ち、40歳を過ぎた今でも競技ランナーたちの集まり『湘南アスリート』に所属し、仲間たちと各地のマラソン大会に出場する現役ランナーである。

週末には、小・中学生に走る楽しみを教える活動も行っている。そんな金子さんに素人でも楽しく走り続けるための心構えを伺ってみた。

散歩からはじめる

脂肪燃焼を目指すなら、20分以上運動を続ければいいと言われています。全く走ったことがなければ、このくらいを目安にウォーキングを始めるのがいいのではないかでしょうか。藤沢には、散歩するのにいい公園がたくさんあります。海浜公園、長久保公園、鵠沼運動公園、秋葉台体育館の付近、川べり遊歩道、海岸沿いの遊歩道など…。

ウォーキングしていく少し走ってみようかなと思ったところが、ジョギングに切り替えるポイントです。そして、

疲れたら歩いてみる。それを繰り返していると、いつの間にか歩かないで続けて走れるようになってきます。無理をせず少しずつ時間を増やしていくことが大切です。



続けることが大切

ジョギングは、シューズさえ履けば、誰でもどこででも始められる気軽なスポーツですが、継続するのは結構難しい。続けるコツは、例えば、自分たちの周りで一緒に走る人を探す。仲間と一緒に走ると励みにもなって、長く続けられるのではないかでしょうか。

生活の一部に取り入れるのもいい方法です。通勤、通学の時、一つ手前の駅から歩いて帰ってくるとか、自動車で買い物に出ていたのを歩いて行くようにするとか……。

また、最近は東京マラソンや湘南マラソンの影響で機能的でファッショナブルなシューズ・ウェアが増えました。形から入ってみるのもよいでしょう。

1時間無理なく走れるようになるのが目標

1時間程度、ジョギングができると、いろいろな大会に参加できる体になり、その先が見えてきます。ある程度走れるようになってからですが、湘南マラソン・平塚ハーフマラソンなどに出たりするのも楽しいのではないでしょか…5km・10km・ハーフマラソン・フルマラソンなど色々あります。

地元のマラソンに出るのは、スタート地点に行くのも楽だし、家族や友人が応援に来てくれたりするのもうれしい。今年の3月に行われた湘南マラソンは、大磯から出発、辻堂海浜公園で折り返して大磯がゴールでしたが、辻堂海浜公園付近で何人の知り合いとすれ違いました。地元だと多くの知り合いに会えるのが楽しいですよ!



お話を伺って、金子さんが、走ることを本当に大切にしていることが暖かく伝わってきた。

湘南マラソンは、走らなくても、ボランティアで大会を支えることもできる。ジョギングからマラソンにステップアップするのは、難しいかもしれないが、大会ボランティアに登録して一日汗を流し元気をもらい、またジョギングを続けるのもメタボ対策としては、なかなか良いのではないかと思った。

(川辺 記)

